



高輪だより

令和2年度12月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

「かがやけ！たかなわのこどもたち」

園長 柿沼 敦子

11月初めの親子スポーツデー「たかなわんぴっく」では、今年度PTAで作成した横断幕が園庭に掲げられました。「かがやけ！たかなわのこどもたち」の文字。子どもたちを応援する横断幕です。当日はその言葉通り、子どもたちの輝く姿と笑顔に溢れた日になりました。ありがとうございました。

そして、園庭には紅葉した落ち葉が増え、秋が深まっています。先日、年長児が園庭でミカンを収穫しました。子どもたちはおいしい色になるのを待ち、やっとその日がやってきたのでした。ひとつずつ、実ったミカン丁寧に回しながら枝から外し、籠いっぱい収穫したミカンをうれしそうに学級に運んでいく姿が職員室の窓からも見えました。その後、いくつ実ったのか、みんなで数えました。数えても数えても分からなくなってしまふほどの数です。いったいどのように数えたらよいのか・・・先生と一緒に考えて、10の固まりにして数えました・・・なんと130個！さて、このミカンをどうするか・・・「年少さんも年中さんも、ミカン食べたいって言ってたよ」「分けてあげよう」そんな声が上がりました。年中、年少児は、憧れの年長児が運んできたミカンに歓声をあげ、瞳をキラキラさせてお礼を言う姿がありました。

さて、幼稚園教育要領に、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」として「健康な心と体」「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「数量や図形、標識や文字への関心・感覚」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」という項目でその具体的な姿が記されました。いずれも、育てるべき能力や目標点といった「達成」を求められる課題ではなく、あくまでも育ってほしい「方向性」を表したものです。これらは教え込むのではなく、遊びや他者との関わりの中で自然に習得していくものです。園生活のひとつひとつの活動、例えば、「並ぶこと」「片付け」「ごっこ遊び」「鬼遊び」などの中に、これらの姿のいくつかがあります。また、この度の「たかなわんぴっく」の取組、ミカンの収穫では、すべてが当てはまります。その中の一つだけが育つのではなく、影響し合いながら総合的に育っていきます。年長児の成長した姿を感じる時、年少、年中だった頃の姿を思い浮かべ胸が熱くなります。幼かった心や体は大きく成長しています。伸び伸びとありのままの自分を出して、夢中になって遊び、他者との様々な関わりを経験してきたからこそ、今の姿があります。現在の年中、年少児の1年後、2年後の姿です。そして、12月には、高輪コンサートがあります。子どもたちは、楽しみながら楽器を演奏したり、歌を歌ったりすることでしょう。一人ひとりが輝く姿を楽しみにしていきましょう。

年少児、年中児と一緒に鬼遊び



PTA 作成の子どもたちを応援する横断幕



年長児と一緒にダンスを踊る年少児



年長児の誕生会の司会にあこがれる年中児



年長児のイネのモミ摺りを手伝う年少児



園庭で実ったミカン130個